

令和3年度（令和2年度事業）

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価に関する報告書

令和3年11月

常陸太田市教育委員会

目 次

I. 教育委員会施策の点検・評価の概要	1
II. 施策別点検・評価	
教育委員会施策の点検・評価書（令和2年度事業）	5
（施策名）	
1 地域資源に磨きをかけた観光の振興	5
2 子育てへの支援	6
3 豊かな心の育成	8
4 魅力ある学校づくり	10
5 多様な学習機会の支援	12
6 スポーツ・レクリエーション活動への支援	14
7 結婚・定住の推進	15
8 市民の地域活動への支援	16
9 犯罪のないまちづくり	17
参考 教育委員会の活動状況	18

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価に関する報告書

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、常陸太田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する書類を別紙のとおり提出する。

令和3年11月30日

令和3年度教育委員会施策の点検・評価(令和2年度事業)の概要

1. 趣旨

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、市教育委員会が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行う。

2. 点検・評価の目的

- 教育委員会における主要な施策や事務事業について点検・評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。
- 点検・評価の結果について報告書を作成し議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし市民に信頼される教育行政を推進する。

3. 点検・評価の対象

- 令和2年度施策を点検・評価する。
 - ・常陸太田市第6次総合計画前期基本計画における教育委員会所管の9施策

4. 点検・評価の方法

- 施策を構成する主な事務事業の評価を基に、施策の目標達成に向けた取組状況と成果の点検・評価を実施する。
- 学識経験者による教育行政評価委員が、施策評価や施策の改善点等について審議する。

(1) 事務事業の評価

- 施策の目標達成のために行った主な事務事業について、その成果や課題を精査検証し評価する。
- 評価については、「A 期待した成果があった」、「B 一定の成果があった」及び「C 見直しや改善が必要」の3段階で評価する。

(2) 施策の総合評価

- 事務事業の評価結果を踏まえ、施策全体の総合的な成果を評価する。
- 評価については、「A 期待した成果があった」、「B 一定の成果があった」及び「C 見直しや改善が必要」の3段階で評価する。
- 今後の方向性を明確にするため、「課題と今後の方向」を記載する。

(3) 学識経験者の知見の活用

○点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する教育行政評価委員の審議を行う。

○教育行政評価委員（敬称略）※

分野	氏名	所属等
学校教育	岡部 昌見	元学校長
社会教育	早川 忠雄	社会教育委員会議長
保護者関係	清水 悦子	市女性ネットワーク委員会委員長（誉田小）

（参考：令和2年度）

分野	氏名	所属等
学校教育	岡部 昌見	元学校長
社会教育	豊田 一	社会教育委員会議長
保護者関係	小林恵美子	市女性ネットワーク委員会委員長（金砂郷小）

5. 点検・評価結果の公表等

(1) 議会への提出

○点検・評価の結果について報告書を作成し、市議会に提出する。

(2) 市民への公表

○報告書を市ホームページにより公表する。

6. 点検・評価結果の概要（令和3年度（令和2年度事業））

○主な事務事業の評価結果を踏まえ、施策全体の総合的な成果を、「A 期待した成果があった」、「B 一定の成果があった」及び「C 見直しや改善が必要」の三段階で評価した。

総合計画における教育委員会所管の9施策（令和3年度（令和2年度事業））

	基本施策	施策の 総合評価	事 務 事 業	事務事業 評価	
				所管課	委員会
1	地域資源に磨き をかけた観光の 振興 (4事業)	B	1 指定文化財整備（文）	B	B
			2 西山荘保存活用（文）	B	B
			3 市内遺跡調査（文）	B	B
			4 文化財保護（文）	B	B
2	子育てへの支援 (6事業)	A	1 幼稚園保育料の無料化（教）	A	A
			2 給食費無償化及び一部補助（教）	A	A
			3 図書館子育て支援ブックスタート（図）	A	A
			4 図書館子育て支援あかちゃんタイム、 ママ・プレママサロン（図）	B	B
			5 市立幼稚園・小中学校給食費の軽減（給）	A	A
			6 放課後子ども教室（生）	B	B
3	豊かな心の育成 (5事業)	A	1 学校図書整備（小学校・中学校）（教）	A	A
			2 小中学校と図書館の連携（図）	B	B
			3 みんなにすすめたい一冊の本推進事業 （図）	B	B
			4 あたたかな人づくり推進事業（指）	A	A
			5 人権啓発推進（生）	A	A
4	魅力ある学校づ くり (7事業)	A	1 3歳児クラスT T配置（教）	A	A
			2 市立幼稚園特別支援指導員配置（教）	A	A
			3 小学校T T特別配置（指）	A	A
			4 小学区特別支援教育指導員配置（指）	A	A
			5 学校統廃合（教）	A	A
			6 活力ある学校づくり推進事業 （小学校・中学校）（指）	A	A
			7 学校給食における地場産物利用促進 （給）	B	B

5	多様な学習機会の支援 (3事業)	B	1 公民館地域活性化推進 (生)	B	B
			2 地域資源活用講座事業 (生)	B	B
			3 公民館整備 (生)	B	B
6	スポーツ・レクリエーション活動への支援 (3事業)	A	1 ジュニア競技能力向上事業 (ス)	A	A
			2 スポーツ施設整備(新総合体育館整備事業) (ス)	A	A
			3 スポーツ施設整備 (運動公園整備事業) (ス)	B	B
7	結婚・定住の推進 (1事業)	B	1 移住・定住者への奨学資金返還助成制度 (教)	B	B
8	市民の地域活動への支援 (1事業)	B	1 エコミュージアム活動の推進 (文)	B	B
9	犯罪のないまちづくり (1事業)	B	1 子どもの安全対策強化 (教)	B	B

計31事業

7. 施策別点検・評価

○別紙「教育委員会施策の点検・評価書（令和2年度事業）」による。

8. スケジュール

- 6月28日 各課等へ「点検・評価書」原案作成を依頼
- ↓
- 8月5日 各課等により「点検・評価書」原案の取りまとめ
- ↓
- 評価委員会提出用「点検・評価書」の作成
- ↓
- 11月11日 教育行政評価委員会の開催（外部評価）
- ↓
- 「点検・評価に関する報告書」の作成
- ↓
- 11月18日 教育委員会定例会へ報告
- ↓
- 11月30日 市議会定例会に提出

教育委員会施策の点検・評価書(令和2年度事業)

担当課 文化課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	安心して働くことのできる仕事の場づくり
	政策	産業振興と新たな雇用創出による仕事の場づくり
	基本施策	地域資源に磨きをかけた観光の振興
		(1) 地域資源を活かした誘客促進 (2) 魅力ある観光地域づくり
施策の概要	・地域資源や地域特性を活用したイベントの開催。 ・自然、歴史、観光資源の発掘、活用による地域の魅力向上。	

施策に対する 事務事業の 概要・成果・ 評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	①指定文化財整備	・文化財を保護保存し、多くの方が訪れてくれるよう、定期的な整備を行うため、所有者に対し補助金を交付。 ・老朽化した文化財説明看板を更新する。	・大里町会所有の市指定文化財の「木造如来形座像」の修復に伴い、修復費の1/2にあたる1,815千円の補助を行った。 ・説明看板の更新については、梵天山古墳説明看板の更新を行った。	B	B
	②西山荘保存活用	・保存活用計画に基づき、西山御殿跡(西山荘)の保存及び活用を図り、誘客促進を図る。	・令和2年度の西山御殿跡整備について、市からの補助は市の方針として実施していないが、徳川ミュージアムと調整会議を定期的に行い保存活用について協議を行った。 西山御殿来訪者数は、9,177人	B	B
	③市内遺跡調査 (梵天山古墳周辺の保存活用)	・梵天山古墳周辺史跡のR4国指定申請に向け、H29から5か年計画で各種調査を行う。	・梵天山古墳、星神社古墳、高山塚古墳、阿弥陀塚古墳の測量調査を実施し、国指定申請時に必要な測量図を作成した。 ・重要遺跡調査委員会の指導のもと高山塚古墳と西天塚古墳の関係性を調査した結果、同時期のものではなく、西天塚古墳の築造時期が新しく高山塚古墳とは別な構造物である可能性が高くなった。	B	B
	④文化財保護 (指定文化財集中曝涼)	・指定文化財の保護と活用を図るため、集中曝涼として一般公開を開催する。	・新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し会場開催を中止としたが、代わりに12箇所の文化財解説動画を撮影しインターネットにより配信を行っている。	B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	H30	R1	R2	担当課 評価	委員会 評価
	指定文化財等保存整備補助金交付件数(件)	3	4	1	B	B
	西山御殿(西山荘)来訪者数(人)	23,400	15,310	9,177	—	—
	集中曝涼来訪者数(人)	8,491	3,431	—	—	—

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	地域の宝である文化財の価値や重要性を、地域の方々に理解していただき文化財を守り保護をする意識の醸成に努めていく必要がある。文化財の修繕や保護を行い、動画配信も含め文化財の積極的な公開活用を図っていく。
--------------	--

教育行政 評価委員 による意見	・令和2年度については、新型コロナウイルスの影響で、来訪者数が減少したことは理解する。 ・文化財解説動画配信については、今後も引き続き活用を進めてほしい。 ・文化財解説動画配信の視聴者や各種イベント等の来訪者を更に増やす周知方法を検討して貰いたい。
-----------------------	--

教育委員会施策の点検・評価書(令和2年度事業)

担当課	教育総務課
	図書館
	学校給食センター
	生涯学習課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	安心して子育てのできる環境づくり
	基本施策	子育てへの支援
		(1)子育て家庭への支援
		(2)地域ぐるみの子育て支援
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭への経済的支援を充実。 ・子育てに関する学習機会や情報提供の充実を図るとともに、交流の場の確保。 ・すべての子どもが放課後に安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことが出来るような居場所の確保・充実。 	

施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	幼稚園保育料の無料化	市内外の幼稚園及び認定こども園等の1号認定者に対し、保育料の無償化を実施。	市内外の幼稚園及び認定こども園に通園する1号認定者に対し、保育料の無償化を実施。 各家庭の経済的負担の軽減が図られた。	A	A
	給食費無償化及び一部補助	市内外の幼稚園及び認定こども園等の1号認定者に対し、給食費の無償化を実施。	市内外の幼稚園及び認定こども園に通園する1号認定者に対し、給食費の無償化を実施。 各家庭の経済的負担の軽減が図られた。	A	A
	図書館子育て支援(ブックスタート)	健康づくり推進課の乳児健診会場に出向いて実施する。乳児健診対象者にブックスタートパック(トートバッグ、絵本2冊)を贈呈し、絵本を介したあかちゃんとのふれあい方法についてアドバイスを行う。(対象者:令和元年11月から令和2年10月生まれの乳児)	令和2年度対象者(218名)、受領者(186名内訳・実施日119名 後日65名 転入2名)、未受領者(32名)。乳児健診相談日に来なかった方には、個別に通知による連絡を行った。	A	A
	図書館子育て支援(あかちゃんタイム、ママ・プレママサロン)	<p>保護者があかちゃんの泣き声等に気兼ねなく図書館を利用できる時間帯(あかちゃんタイム)を設けている。(毎月第1・3木曜日10時30分～正午)</p> <p>あかちゃんタイムの時間帯に併せ、ママ・プレママサロンとして図書館ボランティアによる読み聞かせ、妊娠・出産・育児等の本の紹介、ママさん同士の情報交換を行っている。ママ・プレママサロンの一環として、子育て親子を対象にワークショップを行っている。</p>	あかちゃんタイム実施により、親子で図書館を訪れやすい環境をつくることができた。 感染症対策を行った上でワークショップを定員7組で企画した結果7組18名の参加があった。	B	B

市立幼稚園・小中学校給食費の軽減	市立幼稚園・こども園の園児及び小学校の児童・中学校の生徒に対する給食費を1/2に減額及び市立幼稚園・こども園の市内在住園児は無償。	給食費の減額及び無償により、子育て世帯への経済的支援を行い、感謝の声をいただいている。引続き子育て世帯への経済的支援が図られるよう努めていく。	A	A
放課後子ども教室	・小学校低学年生の放課後の活動場所として、ボランティアが子どもたちの安全を見守りながら一緒に活動し、子供たちが安心して自由に「学び」「体験」「交流」「遊び」ができる環境をつくる。	・市内全小学校区で実施 6小学校区・・・週1回、5小学校区・・・週2回、1小学校区・・・週3回 ※実施日数590日、参加児童数243人 サポーター登録人数108人(年々減少傾向にある。) ・ボランティアとの交流により児童が放課後の一時を生き生きと過ごす事が出来ている。 ・加入している児童の保護者からは、「サポーターさんに宿題等勉強を見てもらい、助かっている。」等の声が聞かれる。	B	B

施策の成果を示す主な指標	指標名(単位)	H30	R1	R2	担当課評価	委員会評価
	幼稚園(1号)保育料無償化 認定者数(人)		196	168	A	A
	幼稚園(1号)給食費無償化 認定者数(人)		196	168	A	A
	ブックスタートパック贈呈率(%)	93	90	85	A	A
	あかちゃんタイム来館者(人)	404	405	360	B	B
	学校給食費減額対象者数(人)	3,213	3,126	3,149	A	A
	放課後子ども教室の連携数(箇所)	12	12	12	B	B

施策の総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価	○		
委員会評価	○		

課題と今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度から、国の施策に基づき幼稚園児(3歳児以降)の保育料を無償化としており、子育て世代の経済的負担の軽減を図る施策として有効に機能していると考えられる。今後も継続していく必要がある。 ・ブックスタートパックの未受領者への対応として、個別に案内を行っても諸事情により受領出来ない方もあると思われるので、最終的には郵送等により届けることとする。 ・あかちゃんタイムは、継続して実施する。 ・ママ・プレママサロン及びワークショップは、感染症対策を行ったうえで実施する。 ・令和2年4月から市内在住の市立幼稚園とこども園の園児の給食費を無償とした。引続き子育て世帯への経済的支援が図られるよう努めるとともに、保護者に対し軽減化の趣旨を伝えていく。 ・放課後児童クラブと連携をし、本事業の充実を図る。 ・ボランティアの確保が課題である。お知らせ版等を活用し、ボランティアの確保に努める。
----------	--

教育行政評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の負担軽減施策は、十分行っていると感じている。 ・放課後子ども教室のサポーター登録は減少傾向にあるが、今後もボランティアの確保に努めてください。 ・給食費無償化は良い施策だが、収入減により学校給食センターの設備や食材に影響が出て、食の安全性に影響が出ないようにしてほしい。
---------------	---

教育委員会施策の点検・評価書(令和2年度事業)

担当課	教育総務課
	図書館
	指導室
	生涯学習課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	郷土を愛し未来を拓くひとづくり
	基本施策	豊かな心の育成
		(1)感性や創造力向上推進
		(2)人権や福祉に関する活動の機会を通して、思いやりのある心や命を大切に作る心の育成。
施策の概要	・学校図書の充実や図書館と学校図書館のネットワーク化を図り、子どもたちの読書活動を推進。	

	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	学校図書整備(小学校・中学校)	文部科学省が設定する学校図書館の図書標準冊数(学級数により異なる)を達成するため、計画的に図書整備を行う。	図書標準冊数は、平成24年度より基準を満たしている。 図書購入費の継続的な確保により、経年劣化した図書の廃棄や新規図書の購入など、定期的な入替えが実現できている。	A
小・中学校と図書館の連携		小・中学校読書用図書や授業教材図書の団体貸し出し・校外学習・職場体験・ブックトーク・出前講座の実施 令和2年度は小・中学校が図書館を有効に活用しやすくするため学校等職向けの「図書館活用の方法」を作成した。	各学校の要望に応え、読書用図書を教室に配置するとともに、教材用図書を提供し、教育の充実に努めた。 団体貸出 4,567冊(全小中学校活用の合計) 校外学習の図書館受入 2校 ブックトーク 8回(1校4クラス2回実施)	B	B
みんなにすすめたい一冊の本推進事業		小学生は年間50冊、中学生は年間30冊以上の本を読んだ児童生徒に賞状の授与を行い読書活動の活性化を図る。	数値目標を掲げ、学校図書館の新刊図書の展示・掲示の工夫やブックトークの開催等による啓発活動が展開された。また、読書を通して、心の教育の推進が図られた。 ○みんなにすすめたい一冊の本事業 ・小学校(50冊以上)…89.9% ・中学校(30冊以上)…38.0%	B	B
あたたかな人づくり推進事業		規範意識の醸成と安心して学べる学校、学級づくりの推進	QUアンケートの活用に係る研修会の実施や年2回実施したQUアンケートの結果の分析により、児童生徒の居場所づくりや自己有用感等の育成に役立った。	A	A
		学校全体で取り組む道徳教育、人権教育の充実	各学校で、豊かな心の育成となる道徳教育や人権教育が着実に実施された。特に、県教育委員会による人権教育に係る市教育委員会訪問の該当年度として、市内小・中学校の取組を紹介するなど推進が図ら	A	A
		親子ともみがき活動の展開による家庭教育の充実	親子ともみがき活動を家庭・地域との連携による教育効果の向上の機会と捉え、お知らせの配付により家庭の協力を得ながら推進が図られた。	B	B

人権啓発推進	<ul style="list-style-type: none"> ・人権について関心を高めるために、毎年人権週間に合わせて「ハートフルフェスタひたちおおた」を開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として例年実施している講演会を中止とし、人権を担当する生涯学習課と社会福祉課の連携のもと、生涯学習センターホールに大型のテレビを設置し人権に関するDVDを放映、また、来所者に啓発グッズの配布を行い多くの市民に対し啓発を行う事が出来た。 また、県が主催する研修会への参加等により、人権教育を学ぶことができた。 	A	A
--------	---	---	---	---

施策の成果を示す主な指標	指標名(単位)	H30	R1	R2	担当課評価	委員会評価
	学校図書館図書標準充足率(小・中学校平均)	153%	142%	145%	A	A
	小・中学校への団体貸し出し冊数	5,619冊	5,094冊	4,567冊	B	B
	小学生(4・5・6年)年間で50冊本を読んだ児童率	95.8%	92.1%	89.9%	A	A
	中学生(1・2・3年)年間で30冊本を読んだ生徒率	39.20%	30.60%	38.0%	B	B
	「学校が楽しい」と答える児童生徒の割合	94%	93%	94%	A	A
	全国学力学習状況調査アンケート「今住んでいる地域の行事に参加していますか」児童生徒割合	56%	67%	コロナ対応で未実施	-	-
	小学校・中学校における人権教室や人権集会等の実施率(%)	100%	100%	100%	A	A

施策の総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価	○		
委員会評価	○		

課題と今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの感性や創造力向上を推進する読書活動の拠点となる学校図書の充実を図るため、学校規模及び整理状況に応じた図書整備を今後も定期的に行う必要がある。 ・図書館で所蔵する図書資料を、読書用図書や教材用図書として活用されるよう、「図書館活用の方法」の有効活用と併せて引き続き学校図書司書や教科担当との連携を図る。 ・みんなにすすめたい一冊の本推進事業では、コロナ対応による学校の休業期間や働き方改革の推進による日課表の変更等により、読書の時間や図書を活用する時間の確保が難しい状況があった。今後、読書による教育的効果を鑑み、学校生活の中での時間確保とともに、家庭における読書の推進に努める。 ・令和3年度には、小・中学校において新学習指導要領が全面実施となることから、その趣旨を踏まえた道徳教育、人権教育の推進を図る。 ・人権週間にあわせ、ハートフルフェスタひたちおおたを継続して実施していく。 ・庁内各課との連携により、様々な啓発手法を用いて、地域や家庭、職場などを巻き込み、市民一人一人の人権意識の高揚を図る必要がある。
----------	--

教育行政評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・図書関係は十分成果を感じる。 ・「あいさつ」の大切さについて、学校教育及び家庭教育の充実を図り、人権啓発に努めてほしい。
---------------	--

教育委員会施策の点検・評価書(令和2年度事業)

担当課	教育総務課
	指導室
	学校給食センター

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	郷土を愛し未来を拓くひとづくり
	基本施策	魅力ある学校づくり
		(1) 特別支援教育の充実
		(2) 教育環境の整備・充実
(3) 特色ある学校づくりの推進		
施策の概要	(4) 食育の推進	
		<ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする幼児、児童・生徒一人一人に応じた適切な指導。 ・多様なニーズと地域性に配慮した幼稚園、小・中学校の規模・配置の適正化。 ・各学校において、全国学力・学習状況調査、学力診断のためのテストや体力テスト等の分析をもとにした、活力ある学校づくりを推進。 ・地産地消による安全な農産物の種類や量の安全確保により、食育を推進。

	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課	委員会
				評価	評価
施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	3歳児クラスTT配置	3歳児11名につきTT講師を1名配置している。担任教諭の補助として園児を指導している。	園児と教諭、保護者との関係構築が図られ、また、園児は集団生活での適応性が確保され、教育上の効果が期待できた。	A	A
	市立幼稚園特別支援指導員配置	特別支援教育を要する児童について、園長から配置要望を受け、関係機関との協議のうえ配置している。	園児と教諭、保護者との関係構築が図られ、また、園児は集団生活での適応性が確保され、教育上の効果が期待できた。	A	A
	小学校TT特別配置	各学校の学習への課題を踏まえ、個への対応や少人数指導に務め、学力の向上を図る。	児童生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな対応が可能となり、児童生徒の学習意欲の向上や基礎基本の定着に効果があった。	A	A
	小学校特別支援教育指導員配置	発達障害を含め、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する適切な支援の充実を図る。	対象児童生徒に対する適切な個別支援が進められ、児童生徒の落ち着いた学校生活や学習につながり、日々の安全の確保や学習機会の保障が図られた。	A	A
	学校統廃合	令和4年4月開校に向け、「峰山中学校区小学校(西小沢小・幸久小・佐竹小)」及び「金砂郷中学校区小学校(金砂郷小・郡戸小・久米小)」の統廃合を進めていく。	<p>計画改訂版策定後、対象学校区の保護者や地域住民に対し説明会や懇談会を実施し、その周知を図った。</p> <p>【令和2年度:統合調整会議・専門部会開催回数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「峰山中学校区小学校」 保護者並びに地区住民合同説明会3回 統合調整会議1回 専門部会A1回 ・「金砂郷中学校区小学校」 保護者並びに地区住民合同説明会3回 統合調整会議1回 専門部会A2回 	A	A

活力ある学校づくり推進事業	学校の教育目標の具現化を明確に打ち出し、学力の向上をはじめ学校の特色を生かした教育活動の充実を図る。	〈小学校〉教育目標の具現化とし、各校において研究テーマを設定した授業改善が推進された。特に、小学校においては、新学習指導要領に基づく単元型の授業づくりやプログラミング教育が積極的に実践された。 〈中学校〉教育目標の具現化とし、各校において研究テーマを設定した授業改善が推進された。特に、研究発表校においては、主体的・対話的で深い学びを目指し、ICT機器を生かした授業を展開し、その成果が発信された。	A	A
学校給食における地場産物利用促進	地元産米コシヒカリ及び地元産の野菜等を給食食材として使用する。 ・米飯給食の促進 ・米粉パンを月2回程度提供	・地場産物のコシヒカリ米や地元産野菜等の食材を使用することにより、子どもたちが地域との愛着や関心を高め、安全安心な学校給食に活かしている。	B	B

施策の成果を示す主な指標	指標名(単位)	H30	R1	R2	担当課評価	委員会評価
	3歳児TT講師配置人数	5	2	3	A	A
	市立幼稚園特別支援指導員配置人数	12	12	11	A	A
	小学校TT配置学校数	9	10	10	A	A
	小学校特別支援教育指導員の配置人数	19	19	30	A	A
	統合調整会議開催数			10	A	A
	体力テスト総合評価(A+B)の児童生徒の割合	66%	66%	未実施	—	—
	活力ある学校づくりの学校関係者評価(4段階)	3.9	3.9	3.9	A	A
	「授業がわかる」と答える児童生徒の割合	94%	94%	96%	A	A
	「学校が楽しい」と答える児童生徒の割合	94%	93%	94%	A	A
地元食材の自給率(青果物等)(%)	47	47	45	B	B	

施策の総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価	○		
委員会評価	○		

課題と今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて幼稚園に入園する園児にとって、個々の面倒を見てもらえるTT講師が配置されることによって、安定した園生活ができています。また、園児の生活の様子(生活習慣・行動・遊び・運動・対人コミュニケーション等)を把握し、必要に応じ特別支援指導員を配置していくとともに、園児の発達段階に応じた対応もさまざまであることから、特別支援指導員等の質の向上を図るための研修の機会を積極的に確保していく必要がある。 ・小学校TT特別配置において、新学習指導要領では、児童生徒の学びの個別最適化が求められている。その実現のために大変効果のある事業であるため、今後も児童の学びの充実を図る。 ・今後とも統合に係る諸事項について、統合調整会議(該当校の校長・教頭・PTA正副会長・地域住民代表者・市教育委員)で話し合いをもち検討していく。 ・活力ある学校づくり推進事業において、学力向上を目指した授業改善とし、今後も市指定校の取組に、今日的な課題(9年間の学びを意図した小・中学校の効果的な連携やICT機器の効果的な活用等)への研究的な取組を重ね、本市の教育活動の推進を図る。 ・JA常陸及び地元産食材取扱業者との連携を図り、今後とも地元産の食材を積極的に取り入れていく。地元食材にこだわった特別メニューを提供する「地産地消の日」の回数を増やし、児童生徒の地域への愛着を高めていく。令和2年度より地元産チーズの提供を始めるなど、今後も地場産物を取り入れるよう努めていく。
----------	---

教育行政評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児、児童、生徒一人一人に対する支援施策は、十分成果が表れている。 ・地元産食材確保が大変だと思いますが、今後とも地元産の食材を積極的に取り入れてください。
---------------	--

教育委員会施策の点検・評価書(令和2年度事業)

担当課	生涯学習課
	生涯学習センター

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	夢と生きがいをもって活躍するひとづくり
	基本施策	多様な学習機会の支援
		(1)生涯学習活動機会の充実
施策の概要	地域人材・地域資源などを活用した学習プログラムやエコミュージアム活動などを通して、地域を知る学習機会の充実に努める。	

施策に対する 事務事業 の 概要・成果・ 評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	公民館地域活性化推進	・地区公民館活動の活性化を図るとともに、公民館職員の研修や講演会を実施。 ・一般教養・家庭教育、健康、女性、青少年、高齢者、スポレク・コミュニティ、趣味の7つの分野に分かれ、バランスのとれた教室・講座等を開催する。	・地域コミュニティの振興やネットワークの強化を図り、「人づくり」「まちづくり」に資するため、市内12の公民館において、97種の教室、講座を運営したが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策として施設の使用を不可とした時期があったこと、利用者数を制限したことにより、開催延回数972回、参加者12,808人と例年の1/3程度の利用に留まったが、利用を制限しながらも一定の成果は得ることが出来た。	B	B
	地域資源活用講座事業	・地域を知る学習機会の充実をはかるため、地域資源(物・人)を活用した歴史講座や自然講座等を開催する。	・4地区の学習センターで、11の講座を開催した。新型コロナウイルス対策を行いながら開催したが、令和元年度と同等数の募集を行ったところ応募数が少なく、受講者数は906人で、昨年(1746人)より840人減少した。地域資源を活用した健康に対する意識向上及び地域を知る学習機会の提供となった。	B	B
	公民館整備	・公民館の利便性の向上を図るため、優先順位を決定して計画的な施設整備を行う。	・施設・設備を整備することにより、地域における社会教育・生涯教育の拠点としての公民館の機能向上が図られた。 ・河内公民館 屋根塗装 ・西小沢公民館 大会議室・通路部床(カーペット)張替	B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	H30	R1	R2	担当課 評価	委員会 評価
	公民館事業参加者数(人)	34,420	31,385	12,808	B	B
	地域資源活用講座事業(人)	4,044	4,234	2,347	B	B
	公民館整備事業件数(件)	2	2	2	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

<p>課題と 今後の方向</p>	<p>【公民館地域活性化推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流事業などに取り組むことが困難な地域もあるが、広域的な事業の取り組みや地域間交流など、新たな事業展開への取り組みも見受けられる。 ・地域の特性を活かし、ニーズに合った公民館活動が重要である。今後、新たなコミュニティへの移行が推進されていくことから、地域・関係各課との調整を図りながら進めていく。 <p>【地域資源活用講座事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源等を活用した講座については、引き続き新型コロナウイルス対策を行いながら開催する。マンネリ化し飽きられないようアンケートを実施し、要望等を取り入れながら、内容の見直し等を行い、積極的に講座を実施していく。昨年度の要望を取り入れ、人気講座については抽選にならないように平日・休日の2班にし、人数を増やして開催するなどの対応を行う。 <p>【公民館整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優先順位を検討しながら計画的な施設整備を行う。 ・常に施設管理を的確に行い、施設利用者の利便性を図っていく。
<p>教育行政 評価委員 による意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館施設整備費を活用し、計画的な施設整備を行ってください。 ・課題にもある通り、新たなコミュニティ担当課との調整を図りながら公民館事業を進めてもらいたい。

教育委員会施策の点検・評価書(令和2年度事業)

担当課 スポーツ振興課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	夢と生きがいをもって活躍するひとづくり
	基本施策	スポーツ・レクリエーション活動への支援
		(1)生涯学習活動機会の充実 (2)施設の充実と有効活用
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> 市民が年齢や体力に応じてスポーツ・レクリエーション活動に積極的に参加し、楽しむことができるよう各種事業を推進。 老朽化したスポーツ施設について、緊急性の高いものから計画的に改修。 	

施策に対する 事務事業 の 概要・成果・ 評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	ジュニア競技能力向上事業	・運動に関する専門的知識を有する指導者によって、子どもたちが運動の楽しさを体験し、体を使った遊びに意欲的に取り組むとともに、教諭が日常の園生活での指導について研修する機会として実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ○公立幼稚園(4園)保育園(2園)、認定こども園(4園)において各園3回実施(計30回) ※保育園、認定こども園は令和2年度より実施 ○子どもたちは回を重ねるごとに積極的に取り組むようになり、マット運動や鉄棒など各園の要望に沿った指導を行うことから教諭も大変参考になったとのアンケート回答を得ている。 	A	A
	スポーツ施設整備 (新総合体育館整備事業)	・現市民体育館の老朽化等に伴い、新たな総合体育館を山吹運動公園内に整備する。	○基本コンセプト、整備方針及び諸室の機能等、整備の方向性を示した新総合体育館整備基本計画の策定	A	A
	スポーツ施設整備 (運動公園整備事業)	・スポーツ施設の計画的な改修を行い、安全安心に使えるよう維持管理に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ○大里ふれあい広場プール修繕 ○大里ふれあい広場野球場防球ネット設置工事 ○新型コロナウイルス感染拡大予防対策として網戸設置工事(山吹運動公園、大里ふれあいセンター、水府海洋センター) ○新型コロナウイルス感染拡大予防対策としてトイレ手洗い場水栓自動化工事(7施設61箇所) 	B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	H30	R1	R2	担当課 評価	委員会 評価
	ジュニア競技能力向上事業参加者数(延べ人数)	150	708	1,431	A	A
	スポーツ施設利用者数(人)	345,619	259,561	84,272	—	—

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価	○		
委員会評価	○		

課題と 今後の方向	<p>市民のライフステージに応じ、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽に楽しくスポーツ・レクリエーションに親しめるよう環境整備を進める必要があり、2019年3月に策定した「常陸太田市スポーツ推進計画」に掲げた以下の3つ項目を柱として各種施策に取り組んで行く。</p> <p>①子どもたちが将来にわたってスポーツを楽しむための能力と心身の育成を図るための「子どものスポーツ活動の推進」</p> <p>②高齢者や障がい者などが年齢や体力等に応じた生涯スポーツ活動と健康増進に取り組むための「スポーツを通じた健康増進」</p> <p>③利用者が常に快適に活動できるための「スポーツ施設の整備を適切に管理」</p>
--------------	--

教育行政 評価委員 による意見	<ul style="list-style-type: none"> 山吹運動公園体育館がどの様に生まれ変わるか期待しています。 将来的には、体育館だけでなく、野球場、陸上競技場(全天候型)などの整備も期待します。
-----------------------	---

教育委員会施策の点検・評価書(令和2年度事業)

担当課 教育総務課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	夢と生きがいをもって活躍するひとづくり
	基本施策	結婚・定住の促進
		(1)移住・定住の促進
施策の概要	・UIJターン者への支援。	

施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	移住・定住者への奨学資金 返還助成制度	助成対象者に当該年度に返 還した奨学資金の全額、ある いは1/2以内の額を助成す る。	奨学生のうち市内定住者やUターン者 にとっては、負担の軽減につながり、有効な 施策に結び付いている。	B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	H30	R1	R2	担当課 評価	委員会 評価
	奨学資金返還助成制度を利用した転入者数	3	4	7	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	・チラシや大学窓口を活用して対象者や保護者へのDMの送付など、本制度の周知と利用拡大を積極的に進める。
--------------	---

教育行政 評価委員 による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・UIJターン者への支援施策としての成果は認められるが、利用した転入者数を増やすよう努めてください。 ・助成制度利用者を増やすには、奨学資金制度利用者を増やす必要があるため、奨学資金制度が理解されやすい広報に努めてください。 ・常陸太田市の良さを具体的にもっとPRすることで、UIJターンにつなげるような施策にも力も入れて欲しい。
-----------------------	---

教育委員会施策の点検・評価書(令和2年度事業)

担当課 文化課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	地域の特性を活かしたコミュニティづくり
	基本施策	市民の地域活動への支援
		(1)地域コミュニティへの支援
施策の概要	・エコミュージアム活動を通じて、潜在的な地域のお宝(地域資源)を発掘し、地域資源の利活用を図ることにより、地域の良さや誇りと愛着心を育む。	

施策に対する 事務事業の 概要・成果・ 評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	エコミュージアム活動の推 進		・自分たちの住んでいる地域にある自然や歴史、文化資源等を確認し、地域の魅力を再認識する「わがまち地元学事業」への取組を支援する。	・「わがまち地元学事業」の取り組みは、地域内を住民同士が探索し地域の良さを再認識するとともに、地域の将来像を話し合うことで、地域への愛着意識の向上と住民同士の交流が図られる。令和2年度は、コロナ禍のため実施予定5地区(継続3地区・新規2地区)のうち1地区(継続)のみの実施となり、4地区については延期となってしまうため、前述した成果を十分にあげることができなかった。	B
・地域資源等を活用した、地域活動(交流事業等)を推進、支援する。			・「わがまち地元学事業」の取り組みを契機とした地域が主体となった地域活動については、7地区で10事業に取り組む予定であったが、コロナ禍により2地区2事業の実施にとどまってしまう、地区内外の参加者やボランティア等との交流や、地域活動の活性化に十分につながることができなかった。		

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	H30	R1	R2	担当課 評価	委員会 評価
		「わがまち地元学事業」実施地区数: 累計	30	33	33	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> ・エコミュージアム活動の基本である「わがまち地元学事業」は、町会等の新たな地域活動のきっかけとなる取り組みでもあるため、今後も、取組地区の拡大に向けて、地域訪問や説明会による継続的な推進を行う。 ・地元学実施地区については、次のステップとして、地域資源の整備やそれらを活用した地域活動への取組が図られるよう、地域訪問や説明会による推進を行う。 ・すでに地域活動を行っている地域については、今後も継続して地域主体で取り組めるように側面的な支援を実施するとともに、活動が停滞している地域については、活動再開に向けた働きかけを行う。 * 地域へのアプローチや支援方法について、新型コロナウイルス感染状況に応じ、適宜、修正・変更していく必要がある。
--------------	---

教育行政 評価委員 による意見	・この施策については、今後もぜひ取り組んで行ってほしい。
-----------------------	------------------------------

教育委員会施策の点検・評価書(令和2年度事業)

担当課 教育総務課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	暮らしやすく楽しむことのできるまちづくり
	政策	安心・安全なまちづくり
	基本施策	犯罪のないまちづくり
		(1)子どもの安全対策
施策の概要	・登下校時の安全対策を強化します。	

施策に対する 事務事業の 概要・成果・ 評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	①子供の安全対策強化	登下校時の児童生徒の安全を確保するため、地域子ども安全ボランティアの登録推進や通学路安全点検の実施	地域子ども安全ボランティアの登下校の見守りやあいさつ・声掛け運動、通学路の危険箇所改善により、子どもの安全確保が図られた。	B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	H30	R1	R2	担当課 評価	委員会 評価
	地域子ども安全ボランティア会員数(人)	599	612	600	B	B
	「子どもを守る110番の家」設置数	—	489	379	B	B
	危険箇所改善数(件)	20/85	49/86	63/70	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	「地域子ども安全ボランティア」及び「子どもを守る110番の家」など、地域住民の協力を得た安全対策及び道路・工作物・表示等の設置など、警察・道路管理者・学校等の関係機関との連携強化による交通安全並びに防犯対策を図る必要がある。
--------------	--

教育行政 評価委員 による意見	・危険箇所の改善は確実にされており成果が認められるが、今後も安全確保をお願いします。 ・今後は、統合によるバス通学が増えるにあたり、登下校時のバス停から自宅までの安全確保対策をお願いします
-----------------------	---

参考 教育委員会の活動状況

1 教育委員会教育長・委員について

本市教育委員会は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、市長が市議会の同意を得て任命した教育長と4名の委員により構成されている。

常陸太田市教育委員会委員【令和3年3月31日現在】

職名	氏名	任期
教育長	石川 八千代	令和2年4月1日から令和5年3月31日まで
委員 (教育長職務代理者)	中村 和幸	平成29年10月5日から令和3年10月4日まで
委員	萩谷 浩司	令和2年4月1日から令和6年3月31日まで
委員	安西 仁人	平成29年4月1日から令和3年3月31日まで
委員	谷下田 幹子	平成31年4月1日から令和5年3月31日まで

2 教育委員会の活動状況について

定例会、臨時会など、令和2年度における本市教育委員会の主な活動状況は、次のとおりである。

年月日	出席委員数	件名
令和2年4月1日	5名	協議会 ・教育長及び教育委員紹介 ・教育委員会事務局職員紹介 ・令和2年度市立小学校入学式の出席について
令和2年4月23日	5名	定例会 ・常陸太田市奨学生選考審査会委員の委嘱等について ・常陸太田市学校事務共同実施グループに係る中心校と連携校の指定について ・常陸太田市学校事務共同実施グループ事務長の任命について ・常陸太田市社会教育委員の委嘱について ・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について ・平成31年度教育委員会主要事業の概要について
令和2年4月27日	5名	臨時会 ・新型コロナウイルス感染症対策について
令和2年5月21日	5名	定例会 ・常陸太田市いじめ問題対策連絡協議会等の設置に関する

		<p>る条例の一部改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常陸太田市奨学生選考審査会委員の委嘱について ・常陸太田市社会教育委員の委嘱について ・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について ・常陸太田市立図書館協議会委員の任命について ・令和2年度常陸太田市一般会計補正予算（第1号）（教育費関係）の編成に対する意見の専決について
令和2年6月18日	5名	<p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常陸太田市立学校管理規則の一部改正について ・常陸太田市修学旅行取消料補助金交付要項の制定について ・常陸太田市障害児就学指導委員会委員の委嘱について ・常陸太田市学校等給食費徴収規則の一部改正について ・常陸太田市学校臨時休業対策費補助金交付要項の制定について ・常陸太田市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ・令和2年度常陸太田市一般会計補正予算（第2号）（教育費関係）の編成に対する意見の専決について ・令和2年第4回市議会定例会（6月定例会）一般質問要旨及び答弁要旨について ・令和2年度学校経営概要及び令和2年度幼稚園要覧について
令和2年7月17日	5名	<p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度常陸太田市一般会計補正予算（第3号）（教育費関係）の編成に対する意見について ・令和3年度使用小・中学校教科用図書採択について
令和2年8月20日	5名	<p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常陸太田市コミュニティ・スクール推進委員会設置要項の制定について ・常陸太田市コミュニティ・スクール推進委員の委嘱及び任命について
令和2年9月24日	5名	<p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常陸太田市立図書館協議会委員の任命について ・令和2年度常陸太田市一般会計補正予算（第4号）（教育費関係）の編成に対する意見の専決について

令和2年10月22日	5名	定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・金砂郷中学校区小学校統合に係る調整会議設置要項の制定について ・峰山中学校区小学校統合に係る調整会議設置要項の制定について ・常陸太田市修学旅行取消料補助金交付要項の一部改正について ・常陸太田市教育大綱（案）について
令和2年10月16日	5名	学校訪問 世矢幼稚園、幸久小学校、西小沢小学校
令和2年10月22日	5名	学校訪問 太田進徳幼稚園、佐竹小学校、世矢中学校
令和2年10月28日	5名	学校訪問 幸久幼稚園、世矢小学校、誉田小学校、瑞竜中学校
令和2年11月4日	5名	学校訪問 峰山中学校、機初小学校、太田小学校、太田中学校
令和2年11月19日	5名	定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・常陸太田市金砂郷地区学校建設基金の設置，管理及び処分に関する条例の意見について ・常陸太田市学校教育施設整備基金の設置，管理及び処分に関する条例の意見について ・令和2年度（平成元年度対象）教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について
令和2年12月17日	5名	定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度常陸太田市一般会計補正予算（第5号）（教育費関係）の編成に対する意見の専決について
令和3年1月28日	5名	定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・常陸太田市教育委員会が所管する指定管理施設運営支援金支給要項の制定の専決について ・常陸太田市教育委員会が所管する指定管理施設運営補助金交付要項の制定の専決について ・常陸太田市立学校施設開放に関する規則の一部改正について ・常陸太田市立学校体育施設開放管理運営委員会設置要項の一部改正について ・常陸太田市立図書館の設置及び管理に関する条例施行

		<p>規則の一部改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> 常陸太田市G I G Aスクール構想推進委員会設置要項の制定について 常陸太田市立図書館図書宅配サービス実施要項の制定について
令和3年2月28日	4名	<p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> 常陸太田市公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の意見について 常陸太田市ふるさと歴史民俗伝承館の設置及び管理に関する条例等を廃止する条例の意見について 令和3年度常陸太田市一般会計予算案（教育費関係）の編成に対する意見について 令和2年度市立中学校卒業式の出席について 令和3年度2学期制の実施について
令和3年3月11日	4名	市内中学校卒業式
令和3年3月16日	5名	<p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> 県費負担教職員の任免等の内申について 学校歯科医の委嘱について 学校薬剤師の委嘱について 学校薬剤師の委嘱について 令和2年度常陸太田市一般会計補正予算（第8号）（教育費関係）の編成に対する意見の専決について 令和3年第1回市議会定例会（3月定例会）一般質問要旨及び答弁要旨について
令和3年3月31日	5名	<p>臨時会</p> <ul style="list-style-type: none"> 常陸太田市立学校管理規則の一部改正について 常陸太田市就学援助実施要綱の一部改正について 常陸太田市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正について 常陸太田市ふるさと歴史民俗伝承館の設置及び管理に関する条例施行規則及び常陸太田市梨木平工芸の森の設置及び管理に関する条例施行規則の廃止について 常陸太田市公民館長の任命について 常陸太田市公民館主事の任命について 常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について 常陸太田市文化財保護審議会委員の委嘱について

		<ul style="list-style-type: none"> ・常陸太田市スポーツ推進委員の委嘱について ・学校閉庁日について ・常陸太田市新総合体育館整備基本計画について ・常陸太田市体育協会の名称変更について
<p>令和2年度 教育委員会の会議開催状況</p> <p>1 開催回数 15回（定例会12回、臨時会2回、協議会1回）</p> <p>2 議案件数 47件</p> <p>3 報告件数 7件</p> <p>4 選挙件数 0件</p>		

令和3年度（令和2年度事業）
教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価に関する報告書

令和3年11月
常陸太田市教育委員会